

体験授業

平成29年7月30日(日)



**大学の講義を体験できるチャンス！
ぜひ聴いてみてください。**

跡見学園女子大学

文学部

<p>人文学科</p> <p>11:30~12:15</p> <p>2号館6階M2602教室</p>	<p>コーヒー・紅茶・砂糖をめぐる東西文化交流史 准教授 森 まり子</p> <p>砂糖入りのコーヒーか紅茶、クロワッサンにシャーベットを添えた欧風ティータイム。しかし実は、今でこそ「ヨーロッパ」と結び付けられているコーヒー、紅茶、砂糖、シャーベットは東方に起源があり、特にコーヒー、砂糖、シャーベットはアラビア語に由来しています。またクロワッサンはハプスブルク帝国とオスマン帝国の戦争に起源のある食物です。講義では身近な欧風飲食物の中で東方、特にイスラム圏と関わるものを取り上げ、現代の欧米文化を形成したく近代以前の東西文化交流の豊かさについて、一緒に考えます。</p>
<p>現代文化表現学科</p> <p>14:00~14:45</p> <p>2号館6階M2601教室</p>	<p>アニメ映画の表現の変化から現代文化のしくみを学ぼう 助教 渡邊 大輔</p> <p>現代文化の大きな特徴の一つに、国籍や民族、ジェンダーなどの「文化の多様化」の問題があります。それはどのようにして生まれ、また時代ごとの作品の表現に反映されているのでしょうか。この授業では、過去と現在のアニメ映画で表現される演出の違いから、その時代ごとの文化や社会のしくみを解説します。</p>
<p>コミュニケーション文化学科</p> <p>13:05~13:50</p> <p>2号館6階M2602教室</p>	<p>着物コミュニケーション文化 准教授 マック・カレン</p> <p>「弁慶(べんけい)格子(ごうし)柄は武蔵坊弁慶と直接に関係ないって?!「三(み)柙(ます)柄は市川團十郎の一番代表的な柄じゃなかったって?!現代、最も格の高い礼装の「絵羽(えば)模様(もよう)黒留袖(くろとめそで)」の基は遊里のファッションだって?!知れば知るほど、着物コミュニケーション文化が面白くなる。着物コミュニケーション文化は非言語コミュニケーションの一つの種類で、「物質文化コミュニケーション」の分野に入る。着物が一般的な「着る物」の江戸時代では、着物の柄、模様、着こなしによって、色々なメッセージを送っていた。着物コミュニケーション文化を経験してみませんか。</p>



マネジメント学部

マネジメント学科 14:00~14:45 2号館6階M2608教室	「子どもの貧困」とは何か 教授 ^が 鷹 咲子
	2012年5月にユニセフ(国連児童基金)が発表した子どもの貧困率(18歳未満の子どものうち、貧困状態にある子どもの割合)で、日本は先進35カ国中ワースト9位の14.9パーセント(約305万人)でした。貧困状態にある子どもは、日本に暮らす子どもにとっての「ふつうの生活環境」を手に入れることが難しくなります。収入の少ない世帯では、進学を断念する、1日でまともな食事は給食だけなど、様々な影響が子どもに生じています。いま、なぜ日本のような先進国で子どもの貧困が問題になるのか考えます。

生活環境マネジメント学科 13:05~13:50 2号館6階M2608教室	エシカル(倫理的な)消費とは何か? 教授 宮崎 正浩
	世界規模で行動する企業の中には、その原料調達から加工・生産の段階で途上国の労働者や環境に大きな負の影響を与えている企業があります。ファストファッションを担っているアパレル企業が代表的な例です。繊維の原料である普通のコットンの栽培には大量の農薬が使われていますが、最近は農薬を使わないで栽培されたオーガニックコットンが注目されています。この授業では、オーガニックコットンを例にして途上国の社会や環境に配慮して生産された商品を購入する「エシカル消費」について考えます。

観光コミュニティ学部

観光デザイン学科 14:00~14:45 2号館6階M2606教室	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた観光戦略 ～ビジット・ジャパン・キャンペーンとは～ 准教授 村上 雅巳
	21世紀を迎え、観光立国の意義とその使命はますます重要になってきています。2008年に『観光庁』が新設され、政府の観光への取り組み体制は飛躍的に大きく前進しました。今、我が国には多くの外国人旅行者が訪れています。なぜ、国や地方は外国人旅行者の誘致(「ビジット・ジャパン・キャンペーン」)に力を入れているのでしょうか。この授業の中でオリンピックなど関連付けて一緒に考えてみましょう。ロケ地とご当地グルメで「行きたいまちNO.1」を決定する『全国ふるさと甲子園』(8月26日)の紹介もします。

コミュニティデザイン学科 13:05~13:50 2号館6階M2606教室	田舎暮らし、はじめましたー農村コミュニティの魅力に迫るー 准教授 土居 洋平
	今、都市から農村に移住する若者が増えています。地域おこし協力隊や田舎で働き隊など、政策的な取り組みも利用しながら、元々は縁もゆかりもない田舎に移住する20~40代の若者たち。彼らは、どうして田舎に移住するのでしょうか。また、移住してどのような暮らしを営んでいるのでしょうか。そして、都市と農村での暮らしには、どのような違いがあるのでしょうか。今回の模擬授業では、Iターン現象を事例に取りながら、農村コミュニティの特徴と魅力について学びたいと思います。

心理学部

臨床心理学科 11:30~12:15 2号館6階M2601教室	「聴く」が持つ不思議な力 教授 宮崎 圭子
	「聴く」が持っている力とは? 実は、我々臨床家(カウンセラー)にとってこの「聴く」は基本中の基本として、繰り返し説かれます。そして、我々臨床家達は日々の実践の中で「聴く」ことに集中します。では、「聴く」にはどのような臨床的な力があるのでしょうか? 授業ではそれをレクチャーします。「聴く」に関して、非常に著名な作家が文学作品の一つにしています。それも味わってもらいます。臨床心理学ワールドを少し理解できるでしょう。お楽しみあれ!